



池田中駅伝チーム 初の全国大会

徳島県中学駅伝を初めて制した池田中学校駅伝部が12月17日、滋賀県希望が丘文化公園で行われた第25回全国中学校駅伝大会に出場しました。大会は47都道府県代表と開催地代表チームなど49チームが6区間各3㎞で争い、第1区では各県のエースが並ぶなか、山本太陽君（3年）が9分49秒で38位と力走。その後、粘りの走りを見せた3区の吉岡育未君（3年）が区間27位と健闘し、アンカーを務めた榎田洸君（3年）が43位でゴールしました。初出場ながら全国トップクラスの選手たちと渡り合った池中生。今後の活躍が期待されます。

国土交通省実証実験で観光ルートを自動運転

祖谷のかずら橋などを訪れる観光客の周遊を促すこと目的に12月3日から7日間、国土交通省による自動運転サービスの実証実験が行われました。3日には開始式があり、来賓や地元児童によるテープカットが行われたほか、期間中128名のモニターが「かずら橋夢舞台」から「ホテル秘境の湯」までの片道約4㎞の自動運転を体験。実証実験は全国13か所で実施されており、四国では唯一、西祖谷地区が選定されました。今後、将来的な実用化に向けて効果や課題の検証が行われるとともに、新たな交通サービスの展開が期待されています。



高校生の視点から市政を考える 高校生議会

高校生に政治や選挙、地方自治への理解や関心を深めてもらおうと12月22日、高校生が議会を体験する「高校生議会」が市役所の議場で開催されました。池田高校、同辻校、同三好校の生徒18人が高校生議員に任命され、市長や関係課長らに対して、観光振興策や地方創生など市政に対する提言や質問を行いました。池田高校1年の坂井美月さんは、「市政について考えるいい機会となりました。これから三好市の良さをいろんな人に知ってもらうためにも、自分ももっと学んでいきたいです」と感想を語ってくれました。三好市議会では、高校生の視点から出された意見を今後の市政運営に反映させ、開かれた議会を推進していきます。



おもしろいこと、珍しいもの、耳よりの情報など、どんなことでもいいのでお知らせください。
三好市役所 秘書人事課 ☎72-7646

希望の光を点灯 池田冬のオブジェ

「未来への希望の光」をテーマに12月2日、池田冬のオブジェ2017オープニングセレモニーがへそっこ公園で行われ、多くの家族連れやカップルなどでにぎわいました。24回目を迎えた今回、大泉保育園児による夢来人宣言やカウントダウンが行われ、公園内の約10万個のLED電球が一齐に点灯されると、会場内は青や赤、白、緑などの柔らかく温かな光が広がり、来場者はオブジェの優しい輝きに見入っていました。また、地元の竹を活用した約200本の竹灯籠や優しい光を放つラブラブチェアも設置され、会場内は幻想的な雰囲気に包まれていました。



桑田真澄さん 甲子園秘話や池高との思い出を語る

元読売ジャイアンツ桑田真澄さんを講師に迎えて12月2日、葛文也杯選抜野球大会10周年記念講演会・三好市民大学・人権教育講演会が池田総合体育館で開催されました。桑田さんは「夢への挑戦」をテーマに、池田高校と対戦した時の思い出や野球をあきらめようとした時、「夢はどんなことがあってもあきらめではダメ」という母からの言葉で今の自分があることなど当時を振り返り、夢への実現に向けて来場者にエールを送りました。講演中には、サイン色紙のプレゼントもあり、参加者約850名は熱心に聞き入っていました。



阿波池田駅で門松飾り付け



帰省客にお正月気分を味わってもらおうと12月13日、池田高校三好校の生徒が阿波池田駅で迎春準備を行いました。参加した生徒は、学校で育てた葉ボタンと松や梅、ナンテンなどを組み合わせて約1.7mの門松を完成させました。3年生の矢野美依奈さんは、「バランスや見やすさを表現するのに苦労しました。帰省する方やたくさんの観光客に見てもらい、正月気分を味わってほしい」と語りました。門松は1月15日まで飾られます。

井川スキー場がオープン



井川スキー場腕山で12月8日、今季の営業が始まり、待ちに待ったスキーヤーやスノーボーダーたちは、さっそくリフトに乗り込み、思い思いのシュプールを描いていました。高松市から訪れた池田龍治さんは、「職場の同僚4人でできました。特にベトナムの友人は初めて雪を見るのでオープンを本当に楽しみにしていました。一緒にスノーボードで滑れるようになって帰りたい」と語り、何度も友人と練習していました。今季の営業は、3月11日までの予定です。

地域の弱みを強みに変えよう



「地域の弱みを強みに変えるジオパーク構想」をテーマに12月8日、三好市民のためのジオパーク講座が三好市中央公民館で開催されました。講師の香川大学教授の長谷川修一さんからは、「例えば池田には断層によって作られた崖があり、日本の中でもこれだけのものはない。地域の方は見慣れた風景かもしれないが、そうではない。地域にとって弱みと思っている部分は実は強みになる。それがジオパークの真髄」と訴えかけました。参加者は足元に秘められた価値に耳を傾けていました。